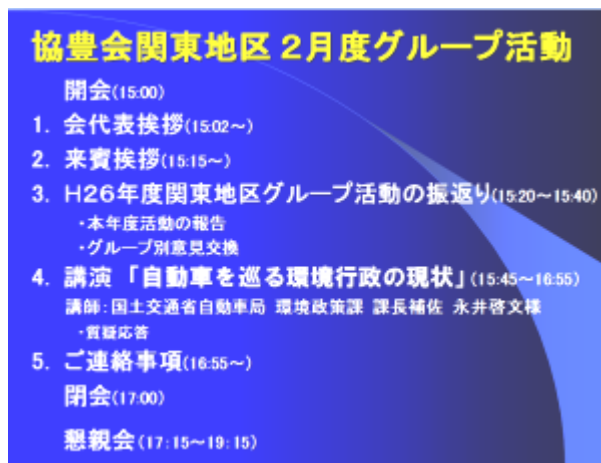


## 協豊会 関東地区

### 平成26年度 関東地区グループ活動 第4回を開催

協豊会関東地区では、2月13日(金)午後、トヨタ自動車さん東京本社の大会議室をお借りして本年度第4回目のグループ活動を開催した。プログラムとしては、先ずグループ活動としての年度振り返り意見交換を行ない、続いて外部講師による講演会を行なった。

当日は関東地区会員会社から49社が参加し、また東海地区と関西地区からの会員会社も加わって、総勢60名を超える規模での開催となった。



【当日のプログラム内容】



【講師にお招きした国土交通省の永井啓文様】

冒頭に会を代表して、永井関東地区総務運営委員長が挨拶と本年度の協豊会全体活動についての報告を行ない、続いて来賓を代表して協豊会事務局 小谷局長様からご挨拶を頂戴した。

最初のプログラムは、今回が本年度最後のグループ活動となることから、先ず本年度グループ活動の振り返り報告を総務運営委員が行ない、引き続いて、参加者がA~Dの4グループに分かれて当活動の評価や今後に向けた要望・意見などを出し合った。



【意見交換を行なう参加メンバー】

二つ目のプログラムは、講師にお招きした国土交通省自動車局 環境政策課の永井啓文課長補佐様から「自動車を巡る環境行政について」をテーマにしてのご講演を頂いた。

永井様は、日本の社会全体における深刻な課題とその解決に向けた国土のグランドデザインについて、そして交通基本政策、地域公共交通活性化、環境対応車の普及促進などについてお話をしてくださり、国が取り組んでいる環境に関わる自動車産業への諸策（規制・対策・支援など）についての解説をしていただいた。

永井様のお話により、日頃は“いいクルマづくり”に向けて取り組んでいる参加メンバーであるが、行政の視線からクルマについて改めて考えることが出来て、自動車産業を巡る環境課題についての認識を深める機会となり大変有意義な講演会となった。



【永井様のご講演を拝聴する皆さん】

講演会の終了後、本年度グループ活動の打上げとして参加メンバー同士の親交を深める懇親会も行ない、みなが充実した半日を過ごすことが出来た。

関東地区総務運営委員会では、本年度グループ活動の成果と反省を踏まえ、トヨタ自動車さんと一緒になっての課題認識の共有化や双方向コミュニケーションの充実を更に図るべく、地区独自の活動を来年度も計画し、実施して行きたいとしている。